

学校便り

熊本市立託麻南小学校 6月号

5つの誓い

今日は皆さんに「5つの誓い」ということを紹介します。この言葉は、腰塚勇人さんのという人が言われました。

腰塚さんは、大学卒業後、「天職」と思えた中学校の体育教師になります。学級担任、バスケット部顧問として「熱血指導」の日々を送っていました。2002年3月1日、人生を大きく変える事故が起きます。スキーでの転倒で「首の骨」を折り、奇跡的に命は取り止めたものの、首から下がまったく動かなくなります。当時、医師からは「一生、寝たきりか、よくて車イス」の宣告を受け、あまりの絶望に「自殺未遂」までします。

その後、妻、両親、主治医、看護師、生徒たち、職場の同僚などの応援と励ましを受け、「自分の命があらゆるものに助けられ、生かされていること」に気づき、「笑顔」と「感謝」と「周りの人々の幸せを願う」ことにより、奇跡的な回復力を発揮します。

そして、「下半身と右半身の麻痺」など、身体に障がいを残しながらも、4ヵ月で現場に復帰し、中学3年生の担任を務めます。

主治医からは「首の骨を折って、ここまで回復した人は、治療した中では、腰塚さんだけだ」と言われるほどの「奇跡の復活」を遂げます。(腰塚勇人さんのHPより)

その腰塚さんが、いつも話しているのが、5つの誓いです。

「**口**は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう」

「**耳**は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう」

「**目**は、人のよいところを見るために使おう」

「**手足**は、人を助けるために使おう」

「**心**は、人の痛みがわかるために使おう」

この5つです。子どもたちに紹介して、一人でも実践していったらうれしい限りです。

ちなみに、6月はいじめ根絶月間でもあります。この5つの誓いを実行していったら、いじめもなくなると思います。